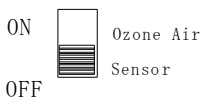


低濃度オゾンガス生成装置 型式 BT-O 3
《 簡易取扱いマニュアル 》

■使用方法

1. 運転スイッチを「ON」にしてください。運転灯が点灯し循環ファンが作動、オゾンを生じます。
2. 停止時は運転スイッチを「OFF」にしてください。運転灯が消灯し循環ファンが停止、発生が停止します。
3. オゾン濃度監視モニターとの接続用に、Ozone Air sensorスイッチは「ON」にして下さい。



Ozone Air Sensor切替スイッチ

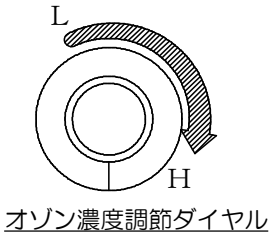
●風量の変更

本機は、オゾン濃度調節ダイヤルで、オゾン発生量を調節するとともに、風量も自動的に変化します。オゾン発生量が多い時は風量も多く、オゾン発生量が少なくなると風量も少なくなります。

●オゾン濃度の調節

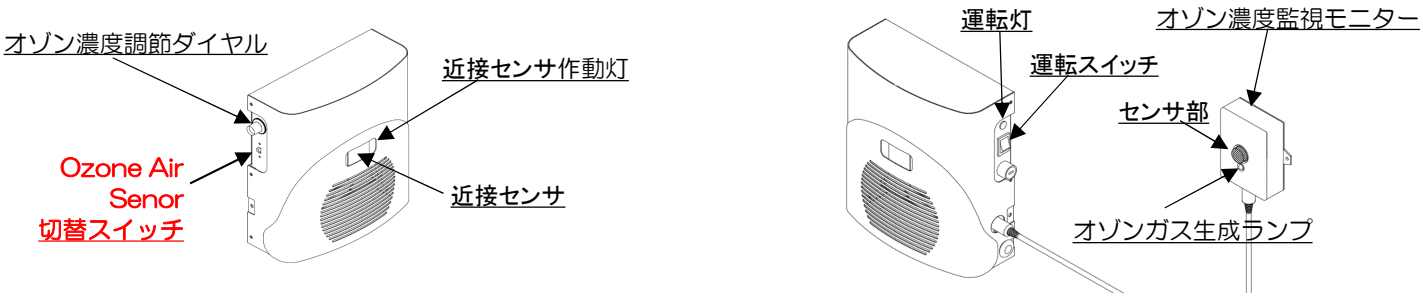
本機は、オゾン濃度調節ダイヤルによってオゾン濃度を無段階に調節できます。

オゾン濃度調節ダイヤル位置	オゾン発生量
濃度調節「L」	10mg/h
濃度調節「H」	40mg/h



●近接センサの動作

本機前面を遮蔽すると、（本機前面約30cm～80cm程度）近接センサが動作、近接センサ動作灯が点灯しオゾンの発生が停止します。遮蔽が解消されると自動的に復帰します。



■監視モニターの動作

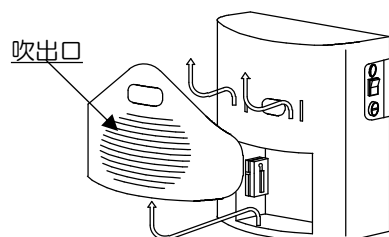
1. 運転開始から約3分間はオゾン濃度監視モニターのウォームアップのため、設定濃度になっても動作しません。
2. 設定濃度の上限値(初期設定0.1ppm)を感知すると、オゾン生成ランプが赤色に点灯し、オゾンガス発生装置のオゾン生成を停止します。ファンモーターは止まりません。
3. 設定濃度の下限値(初期設定0.08ppm)を感知すると、オゾン生成ランプが緑色に点灯し、オゾンガス発生装置のオゾン生成を開始します。濃度設定を変更する時は取扱説明書をご参照ください。

■日常の点検・手入れ

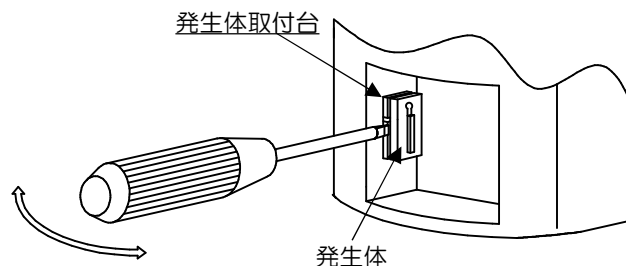
点検項目	時期	点検・手入れ方法
吸気口 吹出口	都度	本体から取り外し、付着したほこり等の汚れを、流水で水洗い、又は、柔らかい布に中性洗剤を少し入れた水を含ませ、硬く絞ってからふいてください。
監視モニター センサー部		オゾンセンサー部のほこり等の汚れを定期的に掃除してください。注意 センサー部をアルコール等の薬品を使用して清掃しないでください。掃除機でほこりを除去するか、または乾いた布等でふき取ってください。
外部の汚れ	日常	付着したほこり等の汚れを、柔らかい布に中性洗剤を少し入れた水を含ませ、硬く絞ってからふいてください。
発生体	1ヶ月	発生体は、「発生体の洗浄方法」の項を参照に洗浄し、よく乾燥させて下さい。（交換後正常に放電するまでに10分～20分かかります。）
発生体取付台	1ヶ月	綿棒・柔らかい布にアルコール含ませて清掃してください。
循環ファン	3ヶ月	羽根に付着しているほこり等、汚れを空ぶきしてください。

●発生体の取外・取付方法

警告 発生体の取外を行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



① 吹出口を上にもちあげてから、前に引き出してください。



② 発生体取付台と発生体の隙間に、マイナスドライバーを差込み、テコの要領で発生体を外してください。

③ 発生体を下記の「発生体の洗浄方法」・「発生体取付台の清掃」の項に従って洗浄してください。取り付ける場合、上部の電極部を、押さないで下さい。割れる恐れがあります。

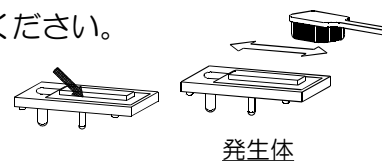
④ 吹出口を元通り組みつけてください。

●発生体の洗浄方法

① 発生体の表面に中性洗剤を少量つけ流水下で歯ブラシ等で表面の、特に下図の矢印で示す放電電極のコーナ部分の汚れを取り除き、流水でよく洗い流してください。洗浄するときに、絶縁用の白いシリコンゴムは、剥がさないように注意してください。

② 洗浄後は乾いた柔らかい布等で水分を拭き取り、よく乾燥させてください。

③ **洗浄時は予備の発生体（2個）に交換してご使用ください。**

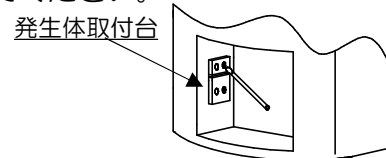


●発生体取付台の清掃

① 綿棒にアルコールを含ませ、発生体を差し込む金属端子部分を清掃してください。

② 柔らかい布に水を含ませ、取付台の汚れを拭き取ってください。

③ 十分に乾燥させた後、発生体を取り付けてください。



■故障・異常の見分け方と処置方法

故障や異常を感じた時はご使用をやめて、次表により原因を調べて処置をしてください。

現象	原因	処置方法
運転スイッチを「ON」にしても機器が運転しない	電源が入っていない。	コンセントに電源が供給されているか確認する。
		コンセントに電源プラグが正しく接続されているか確認する。
	ヒューズが切れている。	原因を確認しヒューズを交換してください。
ファンの音が高い	ほこりが付着している。	清掃しほこりを取り除く。
オゾン臭がしない	吸気口・吹出口が詰まっている。	清掃しほこりを取り除く。
	発生体が汚れている。	オゾン発生装置のオゾン発生体を洗浄または交換してください。
	発生体取付台が汚れている。	清掃し汚れを取り除く。
	近接センサが作動している。	本機前面の遮蔽物を取り除いてください。
オゾン臭が強い	オゾン発生装置の左側面にあるOzone Air Sensor切替スイッチが「OFF」になっている。	オゾン発生装置の左側面にあるOzone Air Sensor切替スイッチを「ON」に切替えてください。
	使用環境によりオゾン濃度が変化することがあります。	オゾン発生量を低く切り替える又は、運転を停止する。

■オゾン濃度監視用モニターのセンサーモジュール交換

2年に1度、定期的に**センサーモジュールの交換**をお願い致します。詳細については取扱説明書を参考にしてください。ご質問等ございましたら、**救急医務課業務係** までご連絡ください。